



# 町民とともにつくる新たな生涯学習施設

## vol.8 生涯学習施設建設の計画を、もう一度振り返る

10月19日(日)、中井中央公園で行われた「美・緑なかいフェスティバル2025」では、生涯学習課が施設建設計画を振り返るミニプレゼンテーションを行いました。その内容をお届けします。

問合せ

生涯学習課 ☎ (81) 3907

### いつ、どこに建つの？

2027年12月に役場東側に建設予定です。農村環境改善センターは建設以降に解体します。



新しい施設の設計模型

### そもそもなぜ建てるの？

生涯学習施設建設について、2006年から検討を続けてきましたが、立地や財政面での課題があり実現には至つていませんでした。

しかし、次の理由から新規建設を決断しました。

#### 老朽化

農村環境改善センターが建設されてから40年以上が経過し、老朽化が進んでいる。

#### ニーズの多様化

備え付けられた部屋数が少なく、町民の利用ニーズに対応できていない。

#### バリアフリー対策

エレベーターや多目的トイレがなく、バリアフリーに対応できていない。

### どんな施設を目指しているの？

施設整備の基本的な考え方を定めた基本構想の中で、施設作りのキーワードを定めました。

#### 集う×憩う

多世代・多文化の人が、気軽に集って交流できる。

#### 学ぶ×教える

学習や芸術文化活動などの、生涯学習活動の拠点になる。

#### 繋がる×交わる

中井町に既にある施設と連携し、行き来しやすさを生み出す。

### 想定される工事費などは？

本施設の想定工事費は、設計者公募時点(2024年11月)で23.5億円を想定していましたが、建設資材費や労務費の高騰により増額が見込まれています。本体工事費以外にも備品購入費、外構・駐車場工事費などがかかります。

財源は、町の貯金である財政調整基金や国補助金などを予定しています。

### どうやって町民の声を取り入れたの？ 設計者はどう選んだの？

新しい生涯学習施設整備の礎となった基本構想・基本計画は、2024年度に行ったわいがやサロンで集められた声を基に作成しました。いただいた意見は56項目にまとめられ、パブリックコメントを経て、同年度末に作成しました。

設計者を選ぶ公募型プロポーザルでは、基本構想・基本計画を基に作られた設計案が33社から集まりました。書類審査、公開プレゼンテーションを経て、「SUGAWARADAISUKE建築事務所」が設計者に選ばれました。

### 【お知らせ】

施設建設予定地に立地する「中井町郷土資料館」の解体を年度内に行います。

なお、事前の検査でアスベストが検出されたため、十分な対策を施したうえで実施します。

生涯学習施設建築計画の進捗や疑問にお答えするQ&Aは、町ホームページやわいがやサロン公式noteにて発信中です。



町ホームページ  
ID 2948

公式note